

科目名	語学研修		科目コード Z11019
学年・学科等名	1・2 学年	専攻共通	選択科目
単位数・開講期	1 単位		
総時間数			
担当教員	特別研究担当教員, 引率教員		
JABEE対象外			
教科書名			
補助教材			
参考書			

A. 教育目標

日本の文化・歴史とは異なる国や地域に赴き、国際的に活躍できる技術者(研究者含む)に必要な能力の研鑽を図る。

B. 概要

国際的に活躍できる技術者の育成を目指し、実際に外国に行き、異なる文化を持つ人々と積極的にコミュニケーションを図るための態度や能力の基礎を養う。現地では企業実習・成果発表・Excursion等を通して知識や見聞を広め、短期間での実践的コミュニケーション能力の向上を図る。

C. 学習上の留意点

この科目は、実際に海外において異文化コミュニケーションを体験することを目的としている。基礎的な英会話を初めとする事前研修、実際に海外の教育機関等において体験する英語コミュニケーション実習、帰国後に体験し、勉強したことを取りまとめて発表する報告会等の実施ノルマがあり、単なる海外体験とは異なる学習機会として臨むこと。

日常接することのない異文化に触れる、母国語の日本語と異なる英語を常時用いるとなど、我が国に暮らしては体験できないことを学べる絶好の機会である。見るもの聞くもの、全てを吸収しようという意気込みを持ち、貴重な経験とすること。

英語(外国語)科目、言語表現を始めとする人文系科目、我が国の文化・歴史を学ぶ社会系科目も関連科目となることを留意すること。

D. 学習到達目標

学習到達目標									
到達目標	1. 海外において、技術的分野等に係わるディスカッション能力の研鑽に取り組むことができる。 2. 海外の技術者等とコミュニケーションを図ることができる。 3. 異なる文化を学ぶことができる。								
ルーブリック評価	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安						
到達目標項目 1	意欲的・積極的に海外でディスカッション能力の研鑽に取り組むことができる。	海外でディスカッション能力の研鑽に取り組むことができる。	海外でのディスカッション能力の研鑽に取り組むことができない。						
到達目標項目 2	外国人と的確にコミュニケーションを図ることができる。	外国人とコミュニケーションを図ることができる。	外国人とコミュニケーションを図ることができない。						
到達目標項目 3	異なる文化を学び、意欲的に尊重することができる。	異なる文化を学び、我が国の文化と比較することができる。	異なる文化を学ぼうとしない。						
達成度評価(%)									
	評価方法	試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品実技	ポートフォリオ	その他(準備)	合計
指標と評価割合				50	40			10	100
基礎的能力				10	10				20
専門的能力									
分野横断的能力				40	30			10	80

E. 授業計画

講義の明細			
	授業内容	到達目標	自己点検
活動開始前	履修願の提出	履修を希望する場合は、「研修履修願」を担当教員に提出すること。	
事前指導①	基礎的な英会話を学び、外国人とのコミュニケーションに備える。	海外で研修するための基礎的な英会話や、当地の文化等を事前に学び、研修の意義や役割について理解できる。	
事前指導②	海外渡航に係わる手続きをする。	パスポートや航空券手配等渡航に係わる手続きを事前に処理することができる(海外旅行保険に必ず加入する)。	
海外研修	海外に渡航し、英語等を用いてディスカッション能力の研鑽や外国人とのコミュニケーションを図る。	心身の健康状態に十分に気を付けた上で旭川高専生として誇りある研修をすることができる。	
事後指導①	海外での体験や学習を報告書にまとめる。	研修の内容や、体験・学習したことを他者に伝えるための報告書を適切に書くことができる。	
事後指導②	報告書にまとめたものを報告会において発表する。	報告書の内容を適切に他者に発表することができる。	
総講義時間数			30 時間以上

F. 関連科目

全科目